

【第 10 回奄美ブロック研修医勉強会】

—10 年来改善の見られなかった貧血の症例—

名瀬徳洲会病院 島 貴史

【症例】 65 歳女性

【主訴】 全身倦怠感、四肢冷感

【既往歴】

- ・ 糖尿病：琉球大学病院にて 1993/12 から指摘され、パミルコン、グルコバイ処方されるも、HbA1c 7.8→9.7 (1997/2) へ上昇し、2001/3 にはインスリンが導入されている。
- ・ 連合弁膜症：1997/1/31 MVR,TAP に対し、三井記念病院で手術されている。
- ・ 貧血：1996 年頃から小球性低色素性貧血、血小板減少を指摘されている。H18/3/27 骨髄穿刺施行されているが、確定診断には至っていない。消化管検索は正常。
- ・ 橋本病

【内服薬】

- ・ ウルソ (50) 3T/3×
- ・ ボグリボース (0.2) 3T/3×
- ・ ロカルトロール (0.5) 1T/1×
- ・ アムロジン (2.5) 1T/1×
- ・ ワーファリン 1.5mg/1×
- ・ ランソラール (15) 1T/1×
- ・ ラシックス (20) 1T/1×

【現病歴】

上記の通りの経過で、輸血を 2 週間に 1 回程度の頻度で施行されていたが、Hb 4-6 台で推移していた。

【家族歴】 家族に類似疾患なし

【患者素描】 ADL 自立

【身体所見】 BW 43kg,BP 140/50,HR 90,KT 37°C,SpO2 95%

- ・ GENERAL a little sick
- ・ HEENT eye anemic,not icteric
- ・ NECK supple,L/N not palpable
- ・ CHEST rt fine crackle(+)
- ・ HEART regular
- ・ ABD hepatomegaly(+)
- ・ EXT edema(-)

【採血】

- ・ WBC 4520,Hb 4.8,Hct 18.5,Plt 11.7,MCV 88.5,MCHC 25.9,網状赤血球 4.0
- ・ BUN 13.3,Cr 1.03,UA 6.7,Na 132,K 3.9,Cl 97

- ・ GOT 17,GPT 13,LDH 242,ALP 227, γ -GTP 94,T-BIL 1.8
- ・ TP 5.7,ALB 3.4,T-chol 112
- ・ 血沈 2.2/4.9/12.0
- ・ cooms test (－)
- ・ 寒冷凝集素 32
- ・ フェリチン 14.8
- ・ C3 75,C4<17.2,CH50 35,P-ANCA <1.3,C-ANCA <1.3, クリオグロブリン(－),
- ・ RF 1,ANA all negative

【尿検】 Pro(±),Glu(-),Uro normal,OB(±),Bil(-),pH 5.5,K.B(-),S.G 1.015

【腹部エコー】 うっ血肝、軽度肝腫大、脾腫、胆石疑い

【胸部 CT】 右下葉胸膜下にひきつれ像あり、肝脾腫あり、心拡大あり

【骨髄像】 H18/3/29

- ・ 赤芽球系が有意な骨髄で溶血に矛盾せず。Hematological malignancy 認めず。
- ・ 顆粒球系は正常、巨核球正常

【診断】

- ・ cooms 陰性自己免疫性溶血性貧血の疑い
- ・ 鉄欠乏性貧血

【入院後の経過】

#1 貧血

まず貧血に対し赤血球輸血 4 単位施行。Hb 6.7 まで改善した。その後 psl 1mg/kg (40mg) にて治療開始した。当初は経過を見るため毎日採血を施行。Hb 6 前後で推移した。フェリチン 14.8 と鉄欠乏も鉄欠乏性貧血もあり、フェジンを 80mg を 10 日間 iv した。投与終了後フェリチン 123.7 まで改善。Hb 依然 6 台で低下は見られず。2 週間後より psl 30mg へ減量。3 週間目で Hb 6.8。psl 25mg へ減量し、退院、外来フォローとした。

#2 糖尿病

もともと糖尿病の既往があり、psl 大量療法が開始されたことにより血糖コントロール悪化が予想された。治療開始時はスライディングで follow。血糖 300 台が見られるようになり、ノボリン 30R 20U 定期うちを開始した。およそ 300 以下にコントロールされるようになった。退院時グリコアルブミン 18(基準値 11-16)

#3 骨粗鬆症

ステロイドの副作用として骨粗鬆症の悪化の恐れあり。NTx 116.9 nMBCE と高値認め、治療必要域に達していたため、ボナロン (5) 1T/1×起床時を開始した。

【退院後】

退院後 1 週間後は Hb 7.3、フェリチン 123 と貧血やや改善、psl 20mg へ減量。しかし一ヵ月後には Hb 6.7、フェリチン 8.7 と鉄欠乏悪化した。鉄欠乏の原因究明にはまだ至っていない。